

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	基礎デザイン実習B	
科目基礎情報					
開設学科	インテリアデザイン科	コース名	全	開設期	前期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	林久喜		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、基礎デザインとして立体造形、構成力を修得します。造形要素の基礎知識として、形態、色彩、材質、テクスチャーの理解を深め、立体構成力のトレーニングを行ない、これから経験していく仕事の現場で、役に立つ立体構成力を学び、デザイン用道具の正しい使い方と丁寧で正確な作業を身に着けるようになります。用途に応じて適切に材料を加工し、提案を人に伝達していくプロセスを通じ、専門的技術を学びます。積極的に学び、色や形のバランスを考えて構成することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、基礎の立体デザイン実習から構成力、造形力を学び、形や空間で展開させるデザイン力を養い、業界で活躍するために必要になる基本技術を向上させ、段階的に道具の使い方、適切に材料を加工させ、丁寧な作業で、形を造形、立体を構成する地下トレーニングを行ないます。立体的な表現を理解して、構成力を養い、素材、空間に適した表現ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、立体造形の基礎的な要素、講師からの解説を受け、デザイン用の道具の使い方から、立方体から、幾何学形態、テクスチャー、レリーフ、家具の模型を制作して、段階的に技量を向上する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「立体デザインの造形構成力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「造形構成力」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、初期段階の学生に立体造形の表現から、デザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。立体造形構成の仕方、表現を知り、今後、実習授業時で求められるア提案モデルスケール模型製作ができるように考えたベースになる実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	基礎立体造形 1 ガイダンス		「チョークの彫刻」 立体造形		
2 回	基礎立体造形 1		「チョークの彫刻」 立体造形		
3 回	基礎立体造形 2		「スチレンボード立方体」 立体造形 一枚残し、45度		
4 回	基礎紙造形 1		「回転体」 立体造形		
5 回	基礎紙造形2		「色紙レリーフ」 1枚のケント紙からの立体変換		
6 回	基礎紙造形2		「色紙レリーフ」 提出		
7 回	基礎紙立体構成 1		「12cm正方形」立体構成		
8 回	基礎紙立体構成 1		「12cm正方形」立体構成		
9 回	基礎線材構成 1		「線材構成」スチレン3mm		
10 回	基礎線材構成 1		「線材構成」スチレン3mm		
11 回	基礎空間構成 1		空間構成 家具の模型製作 S1：15		
12 回	基礎空間構成 1		空間構成 家具の模型製作 S1：15		
13 回	基礎空間構成 1		空間構成 家具の模型製作 S1：15		
14 回	基礎空間構成 1		空間構成 家具の模型製作 S1：15		
15 回	基礎空間構成 1		提出プレゼンテーション		